

令和5年度東京都・東村山市合同総合防災訓練に展示参加しました

令和5年度東京都・東村山市合同総合防災訓練が9月3日(日)に、東村山市役所周辺の各会場で開催され、緊急地震速報利用者協議会(一財)気象業務支援センターとの共同事業として、天王森公園で開催された展示・体験等訓練に、会員の皆様に協力頂き参加しました。

今回の訓練は、「発災後100年の節目を迎える『関東大震災の教訓』と『防災分野におけるデジタル化(防災DX)』を踏まえ、東京の防災力の更なる向上に寄与する実践的な訓練を実施する」こととして、「住民等による自助・共助」、「行政及び関係機関の連携」を統一テーマに開催されました。

一昨年、コロナの影響で直前中止となった東村山市との合同の防災訓練で、コロナ5類への引き下げ後、「入場制限なし」での初めての開催となり、会場には多くの家族連れを含む来場者がありました。当日は猛暑日とはならなかったものの、気温は30℃を超え、提供頂いたブースも東向きで非常に日当たりの良い場所で、十分な水分補給など熱中症対策にも注意する中での展示訓練となりました。

一般の来場者からは、「暑さに気をつけて頑張ってください」と励まされ、歯科医療機器の方とは「安全治療のための機器として合わせての販売」といったやり取りや、通信事業担当の方からは自らが発信しているサービスとの違いへの質問がなされるなど、打ち解けた中にも緊急地震速報を理解してもらえる有効な機会となったものと考えます。「緊急地震速報利用の手引き」は、ここ数年の経験から100部しか持参しませんでした。終盤にはなくなってしまい、一つの反省点となりました。協力頂きました会員には丁寧に対応してもらいました。



【写真】展示、説明風景

今回、関東大震災100年の特別ブース「出張博物館」も準備されました。残念ながら内容を確認することはできませんでしたが、来場者には、大きな関心を持たれ、事前の準備の重要性を理解されたものと推察します。

今回、非常に暑い中でのご協力を頂いた明星電気(株)様には、深く御礼申し上げます。